

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800039
事業所名	グループホーム向陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、町内の盆踊りには6人程の入居者も参加した。ホームの秋祭りにはご近所もお誘いした。毎年中学校の職場体験を受け入れている。ホーム主催の地域交流会では、ピアノの伴奏に合わせてみんなで歌う活動を不定期だが開催し、地域の高齢者・独居老人を招いている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 法人代表である医師・入居者及び家族・民生委員・出入り業者・職員・地域包括職員・ユニットリーダーをメンバーとし、今年も6回の開催が確認された。ユニットごとに外出を兼ねた食事の形態が違ったため、家族の意向を知りたいと、管理者が尋ねたところ疑問が解消するなど、有効に活用されている。地域交流会開催及び地域への周知を、会議で民生委員に依頼し成功に導いている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域の独居高齢者・認知症高齢者を、地域で見守るための、市主催の地域ケア会議に参加し、民生委員・地域介護事業者・町内会・老人会と連絡を密に取り合い、地域の受け皿として活躍している。ホーム主催で地域対象の認知症サポーター養成講座を企画している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 玄関は二つあるがあえて一方を閉鎖し、管理者の前を通らないと帰れないようにしている。そのチャンスを逃さず、管理者は家族に近況報告し、ケアへの要望・プラン見直しの意見を聴取している。家族からも「買い物に連れて行ってもらえるのでうれしい、どんどん連れてって」と好評である。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	×	○	×	○	○	○				